

# 令和3年度 第3回 学校運営協議会報告

開催日 令和4年3月11日（金）（書面にて）

学校協議会委員：真野 正道（元府立学校校長）  
林 浩子（寝屋川市立第一中学校校長）  
巽 順子（地域住民）  
松下 孝雄（北水会）  
高崎 美和（卒業生保護者、地域住民）  
松本 一恵（PTA 定時制委員会委員長）

准 校 長：小早川 真一

事 務 局：伊藤 牧子（教頭） 住友 敏弘（事務部長） 沼田 慎也（首席）  
伊達 康人（教務主任） 河本 拓也（生徒指導主事）  
田代興太郎（進路指導主事） 渡邊 早輝（保健主事）  
大江 理（4年学年主任） 藤田 貴志（3年学年主任）  
森田 千晶（2年学年主任）  
西本 裕幸（人権教育推進委員長、道徳教育推進教師、1年学年主任）

## 1 協議（提言は、下線部が引かれた部分）

### （0）全体的な感想

（提言・意見）

○昨年に引き続き、コロナ感染症防止による様々な規制や制約のある中、授業アンケートや学校教育自己診断で生徒や保護者から肯定的な回答が得られたのは、日々の教育活動の成果であると考えられる。とりわけ、学校内に自分の居場所があると肯定的に答える生徒が多く昨年を上回っていることは、今後の教育活動を展開するうえでプラス材料になると考えられる。

○お世話になりました。入試、卒業式を目前に控え、多くの業務を抱えており、大したご意見を出すこともできずご容赦ください。このようにコロナ禍が2年以上も続くとは想像もしていなかったが、今年度も教育課程、行事など何を進めるにおいても困難に直面し、もどかしさを感じた。寝屋川市内の小中学校では、選択登校制のもと、なかなかクラス全員揃うことがない状況である。

小早川准校長先生をはじめ、先生方におかれましても、苦勞の連続かと思うが、生徒たちの自立のために、ご尽力いただきますようお願いする。

○いつもお世話になります。資料を読ませていただき、年々支援が必要な生徒さんが増えてきているとおっしゃられていましたので、先生方が寄り添いながら進んで行っている唯一無二の高校だと思う。

○私が4年間保護者の視点で感じた事ですが、校長・教頭・教員のコミュニケーションが素晴らしい。何とか頑張って登校している生徒たちに、「元気」と「前向きになれる力」を与えてくださったと思う。その力のもと、教員たちがいろいろ元気に、明るく前向きにいろいろと取り組んで来られたからだと思う。毎年行われる授業アンケートを見ても、年々授業に興味を持ち、落ち着いて自分の進路について考えながら、学校生活を送ることができていると感じる。

○昨年、書面会議の文章を送付した時、2年連続になるとは思いもよりませんでした。修学旅行の中止など今年度もまた学校生活に大きな制限がある中、行事を行うために色々な工夫を重ねておられることと思う。令和2年入学の3年制コースの生徒さんが、せめて残り1年を制約の少ない状況で学校生活を送ることができるよう、願っている。

○あいさつを返してくれる生徒さんが増えてきたのは、すごい嬉しいことである。私が学校へ行った時にもあいさつすると返してくれる方もおられた。

○コロナ、コロナで追われた1年、いや2年でした。工夫の行事、変更の修学旅行、バドミントン部の数年連続全国大会出場、および今年度の卓球部の全国大会出場など、困難な中で経験したことのない教育現場での先生がたの一致協力した取り組みに敬意を表す。

#### (1) 第2回授業アンケート結果について (別紙)

##### (提言・意見)

○令和2年は3月からの臨時休校、6月の学校再開という特殊な状況でした。7月のアンケート結果は「自宅での学習」をイメージしたものになったと思う。対して12月は「目の前で先生が自分たちの反応を見ながら授業をしてくれる」ことへの評価ですので、例年よりも平均の上昇が高かったと思う。

今年度は令和元年と比較すると大きな差異はありませんので、令和2年12月との比較でポイント減が多かったことは大きく受け止めなくても良いように感じた。

○「授業アンケート結果」の「推移」グラフ、令和元年と比べるとマイナスの項目が多く驚いたが、「考察」のコメントを読み、安心した。特に、6.「先生は…注意をしている」の項目で-10になっている理由が、「教師が注意をする必要がない」ほど生徒たちが集中しているという点。日ごろの先生たちのご指導が行き届いていることが伺われた。

#### (2) 学校教育自己診断 (生徒・保護者) の結果や学年の様子について (別紙)

##### (提言・意見)

○生徒アンケートの多くの項目が7~8割を達成できており、素晴らしいと思う。様々な社会適応や発達課題を抱えている生徒もいる中で、学ぶ意欲を持ち続けさせるだけ大変だと思うが、先生方のご苦勞と努力は計り知れないかと思う。

○「学校に話を聞いてくれたり、気軽に相談できる先生がいる」が大きく伸びている点は、高く評価できると思う。昨年度と比べ、10%アップは、大きな成果である。

○「学校の授業中は落ち着いて学習しやすい」に生徒が74%肯定的に回答しているのに対し、保護者が58%と差があるのは残念である。これも、コロナで公開授業や学校での様子を見ていただく機会が減っていることが原因かもしれない。

○学校の評価はまず、授業が分かるかどうかで決まると思う。生徒の「学校の授業の説明は、わかりやすい。」が、2年連続で非常に高い評価を得ていることにまず安堵。保護者の評価も、「『学校の授業の説明は、わかりやすい。』と、子どもが言っている。」で、非常に高い数値になっていて、これが大きな「承認」の中身だ。ただ、「『学校へ行くのが楽しい。』と、子どもが言っている。」の保護者への質問項目で、R3では42%が否定的回答なのが気になったが、コロナの中での通学の困難さがあるのかなと、今年だけのマイナスであってほしいと思った。学校行事に教職員の皆さんの協力で「満足度の高いものとなった」というのは頭が下がる。

○「各学年の様子」では、やはり退学者が少数ながらあるのが気になる。生徒の個別事情があることは分かるが、課題として、増々の取り組みを期待する。

○昨年と同じく、土曜講座を受けてみたいという生徒の割合が増えるには、どうすればよieldろうか思った。京都国際マンガミュージアムやグリコピア、コロナ前は海外の人に人気だった森野サンプルなどは楽しいと思うのだが。(勝山市の福井県立恐竜博物館はとても楽しいと思うのだが、遠いですね...) ホームページで学際研究のシラバスにたどり着けなかったのも、もしも趣旨とかけ離れていましたら申し訳ありません。

○「肯定」の割合が低い「PTA活動や保護者同士の交流が盛んになれば良いと思う。」だが、私自身熱心にPTA活動をした者ではないし(順番が回ってきたら、受けなければならないものという認識である)、やはり誰彼となく交流するというのは少々ハードルが高い。「交流」ではなく、「共有」であれば、違和感なく受け入れられるのではないだろうか。ホームページの「お知らせ」や情報伝達メールが公的なものであるならば、ちょっとした学校での出来事「〇組、今日の出席者は今月で最多」「卒業生を送る会での合唱ムービー、センターは〇〇先生」など短いメッセージを伝えるサブのものがあれば、今まで関わりが少なかった保護者の方に

も関心を持ってもらえ、学校とのつながりが深まるのではないかと思った。ただ、先生方の負担が、今よりも一層増えてしまうということもあり、なかなか難しいことだが。

○このコロナ禍で、行事や活動に制限が増え、学校内では、いろいろな工夫で楽しくその制限を乗り切っているようだが、保護者には伝わっていないと感じる。文化祭や体育祭の入場制限で来られなかった家族や、生徒の都合で行事に参加できない保護者のために、HPで写真や一行コメントでも、気軽に学校生活を覗く機会があれば、もっと「PTA活動や保護者同士の交流が盛んになれば良いと思う。」「学校は、家庭への連絡や意思疎通を行っている。」の数值は向上すると思う。

### (3) 分掌チャレンジのまとめについて (別紙)

(提言・意見)

○ICT研修、ゴクトレ、ネヤトレなどの取り組みで、授業の変化、取り組みやすさが増していることが、拝察される。生徒支援員会での取り組みは、得てして教師の本務とは違う専門性の問われる内容もあり、多忙化の中ですが、研修などを含めて、生徒の困難解決に努力してほしいと思う。

○10月の中間報告と年度末チェックを見ると、各分掌でしっかりと分析・チェックされていることがよくわかる。内容を教職員間で共有して、次年度の方策につなげていただきたいと考える。

○ゴクトレを活用した取り組みは、様々な面で効果がみられるとのこと。来年度以降も継続し、特色ある学校独自の教育活動として進めてもらいたい。

○先生方が一丸となって、授業規律の確立に取り組まれ、特別指導件数が減っていることが評価できる。

○生徒の認知能力の把握、個々に応じた授業内容・教材の工夫については、定時制の課程では、特に教員の発達に対する知識や指導技量が高まることが望まれる。校内研修なども計画的に実施されているとは思いますが、継続して教員力向上・学校力向上をめざし取り組まれるよう期待している。

○ゴクトレに1年間取り組まれ、2月実施の認知能力測定テストの結果を実施されたという事で、その結果も大変興味深く、また分析結果を見せていただく機会があればと楽しみにしている。

○キャリア教育について、学校紹介就職で21名の内定は素晴らしいと思う。

○図書室の利用者増は、様々な工夫して推進してくれるので、継続していただきたい。 生涯学習にも本と触機会が備わっていれば、学ぶことがいつからでもできる。

### (4) 令和3年度学校経営計画及び学校評価について (別紙)

—6人中6人 承認

○様々な事情を持つ人々が、学びを求めて本当にそうだと思う。学力が問題の生徒、気持ちの問題の生徒、私生活が問題の生徒、全てに合わせての活動は大変だと思うが、毎年、とても工夫して取り組まれていると思う。感謝したい。

(5) 令和4年度学校経営計画及び学校評価について (別紙)

○基礎学力の定着には、これからもますます努力してほしい。

○自尊感情の育成では、命と人権の大切さをしっかり教えてほしい。児童虐待などのニュースは、若い父親・母親の人権感覚の欠如が感じられる。

(6) コロナウィルス対応の取組み (別紙)

○状況をしっかり把握され、感染防止に向けた啓発を含め感染対策に尽力されていることがよくわかった。保健・安全・衛生面での取組みとして高く評価できると考える。

○1月から、オミクロン株の市中感染が一気に押し寄せ、寝屋川市の対処方針に応じて、市内中学校でも、学級休業が相次いだ。寝屋川高校は府立学校で、またその対応が違っているとは思いますが、クラスに陽性者が出て、学校が休みになるような事態はなかったのでしょうか？

(終わりに)

○コロナ禍で、様々な制限もある中で、保護者や地域の方々の行事参加が少なかったが、私は参加するまでは、こんなに楽しい行事だとわからなかった。子どもが入学して、不安と心配で、どんな学校で、先生方は、どんな感じなのかと思いき、参加してみたら、教頭先生の高音の声であいさつされており、何とも言えぬアットホーム感で、保護者も楽しい！！と思った。先生と生徒のやり取りやかかわり方も安心した。実際に来ていただき、見てもらうのが一番だと思うので、保護者や地域の方々に来ていただきたい。寝屋定の先生方は、本当にいつも全力で、行事も盛り上げてくださっているの、他にない先生方の熱量も、この学校の推しポイントだと思う。授業もわかりやすく工夫されている。ちなみに子どもが行かせてもらった修学旅行は長崎だったが、一番楽しんでしゃいでおられたのは教頭先生だと、子どもは言っており、でもその楽しんでいる様子を見ると、こっちも楽しかったと言った。一緒に楽しいことも、その他のことも、「寄り添う教育」ですね。

○新年度から、「お金の教育」が始まるのか？

SDGsの取組みも、寝屋定されているのだろうか？来年度もよろしく願いたい。

○どの項目に含める内容かわからないが、4月から成人年齢が18歳に引き下げられることに関して自分の意志で様々な契約ができるようになることや、未成年者取消権が認められなくなるため、トラブルが起こる可能性が高くなるのではないかと危惧している。自分自身が、金銭や契約のトラブルに巻き込まれるだけでなく、知識不足のため、友人を巻き込む事態になる可能性も否定できない。スマホを通して、見ず知らずの人と繋がり、知らず知らずのうちに「高額契約」「得だと思わせる定期購入」「怪しい儲け話」などに、手を出してしまう危険性があるわけだ。具体例を示して、注意の上にも注意を重ねるよう指導をし、生徒さんたちを守ってあげていただきたいと思う。

○令和4年こそはコロナに振り回されることなく、日々過ごしていればよいのにと思っている。

〈追伸〉村田さん、やはりすごいです！